

福島工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	英語Ⅱ B	
科目基礎情報							
科目番号	0022			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	ビジネスコミュニケーション学科			対象学年	2		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	Heartning English CommunicationⅡ / Heartning English CommunicationⅡ Advanced Exercises						
担当教員	小倉 恵実						
到達目標							
①学んだ単語を適切に発音し、英文を正しく音読できる。 ②学んだ単語や文法を正確に身につけ、英語で表現できるための基礎的な力を身につける。 ③基礎的な英文読解力を身につける。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		各授業項目の内容を理解し、応用できる。		各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	テキストを中心に文法、単語、適切な発音を身につけ、英語で表現できるための基礎的な力を培う。						
授業の進め方・方法	定期試験は50分の試験を実施する。中間試験は共通科目試験日に実施する。 定期試験の成績を60%、平素の成績（課題、ワーク提出、授業態度）を40%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。						
注意点	予習、復習を徹底すること。辞書をひき、音読をする習慣をつくること。課題をきちんと提出すること。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション Lesson 1 Laughter without Borders		授業の進め方 未来進行形		
		2週	Lesson 1 Laughter without Borders		未来進行形 時制の一致		
		3週	Lesson 1 Laughter without Borders		未来進行形 時制の一致		
		4週	Lesson 2 The Ongoing Voyages of Curry		未来完了形 前置詞		
		5週	Lesson 2 The Ongoing Voyages of Curry		未来完了形 前置詞		
		6週	Lesson 2 The Ongoing Voyages of Curry		未来完了形 前置詞		
		7週	Lesson 3 The World's Most Bicycle-friendly City		助動詞+ have + 過去分詞 助動詞に関連する表現		
		8週	前期中間試験		前期中間試験に向けた主体的な学習		
	2ndQ	9週	試験答案返却 Lesson 3 The World's Most Bicycle-friendly City		前期中間試験答案返却 助動詞+ have + 過去分詞 助動詞に関連する表現		
		10週	Lesson 4 Can you feel Emotions in Text?		さまざまな動名詞 動名詞を使った表現		
		11週	Lesson 4 Can you feel Emotions in Text?		さまざまな動名詞 動名詞を使った表現		
		12週	Lesson 4 Can you feel Emotions in Text?		さまざまな動名詞 動名詞を使った表現		
		13週	Lesson 5 Background Music and Sharks		さまざまな不定詞 seem [appear] to do / seem [appear] to have + 過去分詞		
		14週	Lesson 5 Background Music and Sharks		さまざまな不定詞 seem [appear] to do / seem [appear] to have + 過去分詞		
		15週	Lesson 5 Background Music and Sharks		さまざまな不定詞 seem [appear] to do / seem [appear] to have + 過去分詞		
		16週	試験答案返却 英語スピーキングの練習		前期期末試験答案返却 英語スピーキングのコツの説明		
後期	3rdQ	1週	Lesson 6 The Benefits of Play		SVOOの受動態 They say [believe] that.....などの受動態		
		2週	Lesson 6 The Benefits of Play		SVOOの受動態 They say [believe] that.....などの受動態		
		3週	Lesson 6 The Benefits of Play		SVOOの受動態 They say [believe] that.....などの受動態		
		4週	Lesson 7 Nursing in a War Zone		さまざまな分詞構文 独立分詞構文／付帯状況を表す「with + 名詞 + 分詞」		

		5週	Lesson 7 Nursing in a War Zone	さまざまな分詞構文 独立分詞構文／付帯状況を表す「with + 名詞 + 分詞」
		6週	Lesson 7 Nursing in a War Zone	さまざまな分詞構文 独立分詞構文／付帯状況を表す「with + 名詞 + 分詞」
		7週	Lesson 8 Hawaii's Debate about a Sacred Mountain	比較に関する表現 従属接続詞
		8週	後期中間試験	後期中間試験に向けた主体的な学習
	4thQ	9週	試験答案返却 Lesson 8 Hawaii's Debate about a Sacred Mountain	後期中間試験答案返却 比較に関する表現 従属接続詞
		10週	Lesson 9 The Next Wave in Artificial Intelligence	関係代名詞と前置詞／関係副詞の非制限用法 複合関係詞
		11週	Lesson 9 The Next Wave in Artificial Intelligence	関係代名詞と前置詞／関係副詞の非制限用法 複合関係詞
		12週	Lesson 9 The Next Wave in Artificial Intelligence	関係代名詞と前置詞／関係副詞の非制限用法 複合関係詞
		13週	Lesson 10 What If There Were No Moon?	仮定法を使った表現 無生物主語
		14週	Lesson 10 What If There Were No Moon?	仮定法を使った表現 無生物主語
		15週	Lesson 10 What If There Were No Moon?	仮定法を使った表現 無生物主語
		16週	試験答案返却 英語スピーキングの練習	学年末試験答案返却 英語スピーキングのコツの説明

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16

				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15,後16
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	前1,前9,後1,後7,後15
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	前2,前10,後2,後9,後16
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	前3,前11,後3,後10
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	前4,前12,後4,後11
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	前5,前13,後5,後12
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	前6,前14,前16,後13
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	前7,前15,後6,後14
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	前1,前11,後5,後14
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	前2,前12,前16,後15
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	前3,前13,後6
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	前4,前14,後7
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	前5,前15,後9
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	前6,後1,後10
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	前7,後2,後11
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	前9,後3,後12
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	前10,後4,後13

評価割合

	試験	課題とワーク	平常点・授業貢献度	合計
総合評価割合	60	30	10	100
基礎的能力	60	30	10	100
専門的能力	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0